

西川リビング

重ね着発想の寝具

三宅デザイン事務所と開発



に、季節に合わせて重ね着するような薄く軽量のアイテムを揃えた」(北村みどり三宅デザイン事務所社長)・掛けふとんの代わりに肌掛けのように薄い真わたふとんやケットを重ね掛けで温度調節しながら、「寝室空間の楽しいコーディネートション」を提案する。デザインは「カレードスコープ」(万華鏡)をテーマにブラウン、ベージュ、ピンク、白など落ち着いたカラーでまとめた。ルームウェアを強化しているのも特徴。寝室の定番アイテムのパジャマに加えて、「眠りに至るまでのリラックスした時間を提供したい」(中村栄太郎西川リビング社長)

と、キャミソール、タンクトップ、ジャケットなどのアイテムも充実させた。価格はシルクコンフォーター(真わたふとん)が6万8250円、12万2850円、ミルフィーユケット2万6250円、7万5600円、ウェアが1万5000円、3万6750円。

「Mayu+」のmaは個人や自己表現、yuはすべての人々、コミユニケーションという意味を持たせている。+は質や価値の意味を込めた」(北村社長という。

西川リビング(大阪)は三宅デザイン事務所(東京)と共同でホームファッションの新ブランド「Mayu+」(まゆプラス)を開発した。写真・寝具・寝装品とルームウェアを中心としたファッションアイテムブランドで、8月1日、伊勢丹新宿店5階に25平方メートルの売り場を新設するほか、全国百貨店・専門店を対象に販売する。

同ブランドは、これまでの重寝具とケットという寝具発想ではない。「ミルフィーユのよう